

あわらの未来を今、奏でよう

あわら市議会だより



9月定例会

| 特集 |

2p

「見える！広がる！市議会のシゴト」「QRコードで広がる市議会だよりの世界」



撮影場所：金津高校

未来に残したい
あわらの風景

@ 金津高校学校祭

一つの目標に向かって仲間と汗を流し、
喜びや悔しさを分かち合うその姿は、
いつの時代も変わることのない、
心搖さぶる美しい光景です。

photo by tomosaki

見える！広がる！ 市議会のシゴト

市議会議員って、議会以外は普段何をしているの？



議会がない日でも、市議会議員は市民の声を市政に反映させるため、委員会や政策の調査・研究、市役所の担当者に聞き取りなどをしています。また、自治会などの地域活動にも参加し、まちづくりを支える活動を幅広く行っています。



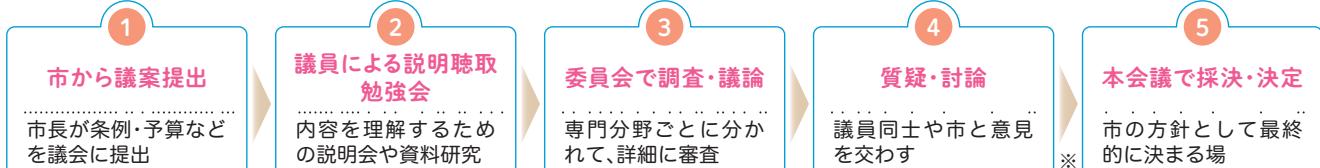
私たちが
お答えします！

各種委員会の紹介

総務厚生常任委員会	行政運営・福祉・子育て・防災・会計等
産業建設教育常任委員会	産業・農業・観光・建設・教育・水道等
予算決算常任委員会	市の予算と決算を厳しくチェック ※予算・決算の時に開かれます
議会運営委員会	議会のルールや日程を調整
広報特別委員会	「議会だより」の企画・編集・校正
議会活性化特別委員会	議会をアップデート！よりよい議会へ
新！防災・減災対策特別委員会	命と暮らしを守るための防災力強化
新！人口減少対策特別委員会	人口減少の課題を探り、“人が暮らし続けたいまち”へ

結構たくさんの
委員会をやって
いるのです！

本会議までの流れ



市議会の本会議は議論の結論を出し、市の意思を最終的に決める『公開の場』です。これは議員活動の最後の一部で、その前に議員は多大な時間をかけ、市役所からの説明聴取、委員会での審査、徹底した調査研究を行います。一般質問は、市民に知らせるべき課題やまちの将来を行政側に問う重要な場です。

QRコードで広がる市議会だよりの世界



市議会だよりが新しくなって、一般質問の内容が少なくなったように感じるわ

一般質問にあるQRコードをお手持ちのスマートフォンやタブレットでカメラを起動して読み取ると、より詳しいページや動画を見ることができます！



1 カメラアプリをタップ！



2 QRコードにかざす

3 URLをタップ



4 サイトが表示されます

Let's try !



QRコードを読み取ってアンケートに答えてみよう！



貴重なご意見お待ちしております！

わからない点はご相談ください!!

スマートフォン・タブレット よろず相談所(市役所1F) 毎週水曜日 10:00~12:00
ご予約・お問い合わせは、政策広報課DX・情報発信戦略室 TEL.0776-73-8005

Q 芦原温泉駅西口交通広場の安全対策と交通マナーについて

みさわゆうぞう
見澤 勇三議員

A 交通安全は重要であり障がい者スペースの配慮に心掛ける。

Q 芦原温泉駅西口交通広場のバス、タクシーの乗降場について

Q タクシー乗降場にもう一台分のスペースを確保できないか。
A 交通広場は、関係機関との協議によって現在の形に整備された。この広場は多くの方が利用する場所なので、様々な機関と調整が必要であり、今後も適切な運用方法を検討していく。
Q バス、タクシー乗降場に雨、雪除け用の庇を取り付けられないか。
A 追加設置することは、多額の費用が生じるため、難しい。しかしながら、おもてなしの考え方方が重要であり、そうしたソフト面での取り組みが進んでいくことを期待する。

QUESTION
ANSWER

一般質問

一般質問では、議員が市政の課題や方針について質問し、まちをより良くするための提案を行います。

9月定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。
1人25分の持ち時間の中で、さまざまな議論が行われました。
ここでは、そのやりとりの一部を掲載しています。



各議員の名前横に掲載しているQRコード
を読み取っていただくと動画をご覧いただけます。また、増量版は右のQRからご覧ください(希望議員のみ)。



Q …議員の質問

A …市側の回答

💡 …最後に一言

Q 地震による通電火災を防ぐための方策について

いえがみまさゆき
家上 雅之議員

A 感震ブレーカーの普及について広報している。

地震による通電火災防止について

Q 地震発生時に電気機器からの出火や停電復旧時による通線火災を防ぐ為に感震ブレーカーがあるが、あわら市では感震ブレーカーの周知や設置補助金の考えはないか。
A 国は、大規模地震時の通電火災対策として、感震ブレーカーの普及啓発を図っている。市では、8月30日からの防災週間に県と連携して各区へのチラシ回覧や市ホームページで、感震ブレーカーの設置を周知している。
また、感震ブレーカーの設置補助については、地域防災力向上支援事業補助金において、自主防災組織を通じて支援している。この補助制度の周知を今後強化していきたい。

Q 全ての市営グラウンドに日陰を確保する設備の整備を

きたうらひろのり
北浦 博憲議員

A 熱中症対策のため、日陰を確保する設備の整備を推進。

市営グラウンドの熱中症対策について

Q 強い日差しの中でも日陰を確保できるテントやダッガーアウトなどは整備されているか。
A トリムパークかなづの多目的グラウンドと国影グラウンドに野球、ソフトボール用のダッガーアウトを整備している。柿原グラウンド、湯のまちグラウンド、ゆうゆうパーク公園の多目的グラウンドは、日陰を確保する設備の整備、テントの配備や貸し出しを検討する。

あわら市沖洋上風力発電所について

Q 坂井市にある福井港は、洋上風力発電の基地港湾指定の意向を表明している。有望な区域への整理や法定協議会の設置に向けて、坂井市との連携を進めてはどうか。
A 有望な区域に進むには、地元全体の更なる理解醸成が必要となることから、経済圏が重なる坂井市、そして県としっかり連携しながら進めていく。

Q 物価高騰下でのごみ袋価格見直しは?

あおやぎあつし
青柳 篤始議員

A 現状は価格維持。財政全体見極め対応。

ゴミ袋の価格について

Q 市民生活に直結するごみ袋の価格は、物価高騰の中で負担感が強まっている。生活支援策として価格見直しを検討すべきではないか。さらに処理費用の負担割合に加え、分別や再資源化が費用削減にどう結びつくのかを見える化し、市民の協力を得るために情報発信を求める。
A あわら市では旧町時代から、ごみ処理費用の一部を市民にご負担いただく形でごみ袋を有料化している。現行価格は令和2年度改定時に処理費用の約12%を想定したが、令和6年度には10.6%に低下した。一方で処理は増加傾向にあり、令和10年度には焼却施設の延命化工事も予定されている。こうした状況を踏まえ、現時点では財源の確保と工夫により価格は維持する。併せて、分別や再資源化によるごみの減量化に期待した「見える化」の情報発信に努める。



あわら市の行政評価制度が抱える課題とその解決策は？

なか じま みづ き
中嶋 瑞希議員



A 政策と予算の不一致、数値目標の制約が課題。
次期計画で体系を見直し、評価法を研究する。

行政評価について

- Q ふるさと納税3.0補助金額設定の根拠、評価方法、結果に基づくアクション案は。
- A 補助金額は市内事業者への事前聞き取りに基づき決定。評価指標は「寄附額」と「対象返礼品の実績」の2点。月次の寄附実績の推移や受注数の変化を確認。計画未達の場合、原因分析と改善計画書の提出を促す。
- Q 湯のまち広場社会実験の成果指標、データ収集方法、本格整備へのアクション案は。
- A 来訪者数や滞在時間、満足度を成果指標とし、アンケート等でデータを収集。結果を年度末に作成する芦原温泉街再整備基本計画に反映し、本格整備の意思決定に活用する。



手話推進法の施行を契機に、手話施策の充実を図るべき

しま だ とし や
島田 俊哉議員



A 手話の普及と活用に実効性のある取組みを推進する。

手話推進法の施行を踏まえた具体的な施策について

- Q 令和7年6月施行の手話推進法を踏まえ、あわら市における更なる施策展開を提案する。幼少期からの手話教育、行政・医療・観光等での手話利用、観光との連携による交流促進、災害時の情報保障、市民啓発イベントの恒例化を進めるべき。また、各種福祉計画の改定時には当事者の参画を得ることが重要である。手話は耳の不自由な方のみならず、全ての人の心をつなぐ言葉であり、誰にとっても安心して暮らせる「手話先進都市」を目指すべきと考えるが、市長の見解を伺う。
- A 手話施策推進法の施行を受け、本市としてもより発展させた包括的で実効性のある施策の推進が必要だと認識している。今後の各種福祉計画の改定に当たっては、手話の普及と活用を一層進める実効性のある取組みを盛り込んでいきたい。



市として新型コロナ感染症の振り返りと今後に活かす改善点は？

なか が いち か
中垣内 えり香議員



A 国や県の方針及び市の新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき対応してきた。

予防接種健康被害救済制度について

- Q 新型コロナワクチン接種が始まっているから4年間で全国で、国が認めただけで9,212件の健康被害、1,026件の死亡事例が報告されていますが、あわら市での報告件数は。
- A 市において、新型コロナワクチンによる副反応疑いの報告件数は7件。予防接種健康被害救済制度の申請件数は1件で国において審議中。
- Q 市では制度について市民への周知や、ワクチン副反応リスクなどの詳しい説明が十分ではないように思われるが、今後の対応を伺う。
- A 制度の周知については、市のホームページや概要を記載した案内を同封し、厚生労働省のQRコードも併せて掲載してきた。また、ワクチン接種は本人の同意に基づく接種であることを伝えている。今後も適切な活用をしていただけるよう情報提供に努める。
- 💡 市として市民の命と健康を守るために慎重に進めていただきたい。



あわら市を多様な視点でとらえる教育の戦略化について

みなみ りょう いち
南 良一議員



A キャリア教育のプラスアップとともにカリキュラムにしわ寄せがないように考えたい。

「あわら市の産業そして課題」をとりいれた教育の戦略化

- Q 発達段階に応じてキャリア教育の中に、産業界との交流やあわら市の課題を考える機会を導入すること、そしてその受け皿の組織作りについて伺う。
- A 各学校のカリキュラムを尊重していく中で、キャリア教育のプラスアップを図っていく。ただ、キャリア教育以外の様々な教育にしわ寄せがないように考えたい。コンソーシアムでの多様な知見は意義深い。また、協働性や主体性といった非認知能力も育んでいきたい。

まちづくりコミュニティの構築

- Q 年間を通して、市民主体の「まちづくりボトムアップミーティング(コミュニティ)」が作れないか。
- A 「市長ふれあいトーク」や今年度から実施する中高生を対象とする「次世代タウンミーティング」等の既存の取組を基盤として、まちづくりに意欲を持つ人材の掘り起こしや育成を図り、年間を通じた市民主体の取組にレベルアップできないか検討。



あわら温泉の活性化に向けたDMO(観光地域づくり法人)発足の進捗は？

せき やま こう じん
関山 耕人議員



A DMOと関係団体の関係性をわかりやすい形で示す事業スキーム図の素案を作成している。

あわら温泉の活性化について

- Q DMO設立のスケジュールは。
- A 課題解決や調整に時間を要し、最短で令和11年度を想定。
- Q DMO運営の鍵である市民共創の体制整備は。
- A 広報やSNSに加え、住民への説明会を対面で行い、社会実験の成果を計画に反映する体制を整える。
- Q 他自治体でベンチマークとしている自治体は。
- A 県内では「勝山DMO」、県外では先駆的DMOとして観光庁から選定されている岐阜県の「下呂市DMO」である。
- 💡 市民の意見が反映されやすい仕組みづくりと、より伝わりやすくするために事業スキームの可視化を求める。



子どもたちにとってより良い教育環境の実現を

の ざわ ゆ き
野沢 裕希議員



A 子どもの可能性を伸ばし、地域とともに教育を推進する。

全天候型子ども施設の整備について

- Q 専門家や運営の視点も踏まえ、より良い施設とするための検討を今後どのように進めるか。
- A 策定委員会でNPO代表や保育教諭、支援員、保護者の意見を反映している。実施設計は設計事務所や遊具メーカーと協議し、安全性と動線に配慮している。現在実施設計中であり、選択余地がある遊具に関しては子どもアンケートを実施したり、愛称募集や見学会を計画したりして、親しみやすい施設を目指す。

教育環境の充実と人材確保について

- Q 給食の質の維持、人材確保、職場環境整備をどのように進めるか。
- A 給食は質と量を維持し、食材費高騰には柔軟に予算を確保する。育休などには、人材バンクを活用し代替教員を配置している。校務用パソコンや複合機を更新するなど、業務効率化と快適な教育環境の整備を進める。

令和7年9月 定例会を 開催しました

8月19日から44日間にわたって、9月定例会が開催されました。定例会では、令和7年度の補正予算に加え、令和6年度の決算認定、条例改正など議案25件を審議。9月5日、8日には11人の議員が一般質問を行いました。

9月19日、10月7日の本会議では、常任委員会での審査結果が報告され、採決の結果、すべての議案が可決されました。

あわら市議会に、「防災減災対策特別委員会」と「人口減少対策特別委員会」の2つの新しい特別委員会を設置しました。災害への備えを強化し、住み続けたくなるまちづくりを目指します。

9月定例会の流れ

8.25 ▶ 10.7

月 日	会議名・会議内容
8/25(月)	本会議 ・議案上程 ・会期決定 予算決算常任委員会 ・予算質疑
9/ 5(金)	本会議 ・一般質問
9/ 8(月)	本会議 ・一般質問
9/ 9(火)	総務厚生常任委員会 ・議案審査
9/10(水)	産業建設教育常任委員会 ・議案審査
9/18(木)	予算決算常任委員会 ・決算質疑
9/19(金)	本会議 ・質疑 ・討論 ・採決
9/22(月) 24(水)	総務厚生常任委員会 ・議案審査(決算審査)
9/ 29(月) 30(火)	産業建設教育常任委員会 ・議案審査(決算審査)
10/ 6(月)	予算決算常任委員会
10/ 7(火)	本会議 ・質疑 ・討論 ・採決



令和7年度 一般会計補正予算（第2号から4号）成立

約2億495万4千円を増額!!

一般会計で総額7,866万2千円を増額し、予算総額は177億1,361万6千円となりました。主な歳出予算是、新型コロナウイルス予防接種委託料、金津創作の森照明のLED化工事、学校給食無償化事業、屋内子どもの遊び場整備事業などが計上されています。

全天候型子どもの遊び場整備事業

9億1,300万円（債務負担行為）

遊び場整備工事と複合福祉施設大規模修繕工事に加えスプリンクラー設置などに要する経費を令和8年度までの債務負担行為として設定しました。

※債務負担行為とは来年度の支払いを約束する手続きのこと。



▲全天候型子どもの遊び場のイメージ

学校給食無償化事業

給食負担金 1,600万円を減額

10月から小学校給食無償化を実施し、中学校と合わせて完全無償化となりました。

議員からは、給食の質の維持と給食センター設備の適切な更新を期すよう意見がありました。



▲給食を楽しむ小学生児童たち

・常任委員会質疑（予算審査）

ふるさと納税基金積立金

補正予算額 899万5千円

質問 ふるさと納税の額が増加しているが、米に過度に依存する体制ではリスクがある。

答弁 他の返礼品の育成にも注力していきたい。

市道法面雑木伐採費

補正予算額 200万円

質問 大規模に伐採する考えはあるのか。

答弁 全面的な伐採をしたいが、予算の関係から道路に支障のないよう効率的な伐採を進めたい。

全天候型子どもの遊び場整備事業

補正予算額 9億1,300万円

質問 財政負担となる施設にならないように、持続可能な運営方法を検討すべき。

答弁 指定管理を主とし、業務委託や直営管理も検討し、地域全体の活性化に寄与するような運営を検討していく。

消火栓更新費

補正予算額 250万円

質問 消火栓点検の実施方法と今後の更新見込みはどうか。

答弁 境北消防本部が毎年全件点検を実施し、不具合が確認された消火栓を更新している。

セントピアあわら修繕費

補正予算額 266万円

質問 一定額以下の修繕は指定管理者が実施するのではないか。

答弁 基本協定でリスク分担を定めており、今回は安全管理上の修繕として金額に関わらず市が修繕を行う。

質問 今年度の接種開始時期と対象者への周知方法はどうなっているか。

答弁 10月から来年3月までの接種期間となつており、対象者全員には個別に通知を発送する。

その他の質疑や詳しい内容は、
動画をご覧ください。



議案第63号 令和7年度一般会計補正予算(第3号)における討論(順不同)

賛成討論

市長就任以来、段階的に進めてきた小中学校での学校給食無償化については、今回の補正予算で小学校の給食費負担金を減額することにより、10月から完全無償化となるが、これまでその財源をふるさと納税の寄附金を充当するなどの努力により公約の一つを実現することに敬意を表する。また、給食センターの炊飯設備の更新についても、適切な予算措置となっている。

島田 俊哉 議員

賛成討論

コロナウイルス予防接種委託料について、あわら市としては国の支援がなくても、ワクチン接種を希望する市民に不安を与えることのない予算措置は適正な判断であると考える。

笹原 幸信 議員

反対討論

新型コロナワクチン予防接種には国の補助がなくなり、全額市費負担となる。一方、ウイルスの重症化率は大幅に低下しており、1,450万円の予算に対し、予防できる重症者数は試算で数人程度と、費用対効果が著しく低いと考える。先の一般質問でも指摘したとおり、健康被害への懸念も払拭されていないため反対だ。

中垣内 えり香 議員

・常任委員会質疑（決算審査）

地域防災組織

質問 高齢化が進んでおり、地域防災力向上に向けたリーダー育成が重要だ。

答弁 地域出前講座や小中学校での防災教育なども含め、様々な年代に対してもリーダー育成に向けてアプローチをしていきたい。

鳥獣害対策

質問 鳥獣害による農業被害の件数や金額とその推移はどうなっているか。

答弁 令和6年度の被害面積は9.38ヘクタールで被害額は一千一十三万二千円だった。前年度比では被害面積は減少したが、被害額はやや増加している。

芦原温泉駅西口立体駐車場の利用

質問 新幹線開業初年度において、利用の台数も料金も減少しているが、今後の利用促進策はどうか。

答弁 新幹線の利用促進と併せて駐車場利用の広報強化を図る。利用者アンケートを実施中なので、その結果を踏まえ利用拡大策を検討していく。

観光まちづくり推進

質問 現在進行中の取り組みを継続して磨き込み深化していく必要がある。

答弁 今後は地元住民や旅館組合と一緒に議論の場を設け、賑わいの継続に取り組んで行く。

道路補修や樹木伐採の要望対応

質問 多数の要望に対する優先順位や進捗状況を一覧表やマップで見える化を進めるべき。

答弁 市全体の要望との関連から関係課と協議する必要がある。要望の公開についても検討を進める。

部活動の地域移行

質問 休日に指導する地域指導員と教員との間で、生徒の心身状態の情報共有を密にし、円滑に引き継ぐ仕組みを構築すべき。

答弁 現状はコーディネーターを介して連携しているが、関係者間での円滑な情報共有ができるよう改善していきたい。

その他の質疑や
詳しい内容は、
動画をご覧ください。

総務厚生
常任委員会



9月24日

総務厚生
常任委員会



9月22日

産業建設教育
常任委員会



9月30日

産業建設教育
常任委員会



9月29日

議案の結果

採決結果一覧

賛成 = ○ 反対 = ✕ 欠席 = 欠

※議長は採決に加わらないので「/」で表示しています。



全ての
議案一覧は
コチラから



採決で賛否が分かれた議案のみを掲載しています。

これ以外の議案等は賛成全員で可決しています。
詳しくはQRコードからご覧ください。

議案番号	議案内容	議決結果	表決		中嶋瑞希	関山耕人	中垣内えり香	野沢裕希	家上雅之	南良一	見澤勇三	青柳篤始	島田俊哉	北浦博憲	堀田あけみ	室谷陽一郎	笹原幸信	北島登	卯ひろみ
			賛成	反対															
第128回 あわら市議会定例会 63	令和7年度 あわら市一般会計補正予算 (第3号)	可決	14	1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○

やってみよう! 議会の仕事を体験してみよう

～中学生議会を開催しました～

中学生が議員となり、市政について真剣に考え、意見を発信する「中学生議会」が開催されました。



市長からの答弁も含めた
子ども議会の様子は
コチラから!



あわら市の観光客を
増やすには

北潟湖の自然環境を
守りたい

遊具も遊ぶ場所も
減っているので増やしてほしい

あわら市の食べ物を使ってスイーツを開発し、PRに力を入れたり、宣伝用の看板を設置すると観光客が来てくれると思います。

水門で塩分を調整し、生態系を安定させたり、淡水魚と回遊魚が共存し合う環境になるよう、放流や養殖を行うと良いのではと思います。

小学校や公園で遊具が減っている。子どもたちの遊ぶ場所も減っていると思う。遊具を増やして子育てしやすい環境を作りたまつりたい。

Topics

議員と語ろう会 開催日 11月29日(土)

日々の暮らしの中で、ふと感じる「これって、どうなっているんだろう？」そんな素朴な疑問や、小さな声にこそ、まちを変える力があります。

語りましょう！子育て、福祉、教育、産業、農業、地域の課題、そしてあわらの未来まで。今年も「議員と語ろう会」を開催いたします。市民の皆様と市議会議員が、ひとつのテーブルを囲んで対話する、意見を押し付け合うのではなく、思いを交し合う時間です。政治は遠いものじゃない。あなたの言葉が、議会を、まちを少しづつ動かしていく。

11月29日、あなたの思いを聞かせてください。

昼の部 13:30～

夜の部 19:00～

本荘公民館／坪江公民館

金津本陣IKOSSA／湯のまち公民館

北潟公民館／伊井公民館

細呂木公民館／吉崎公民館

申込みは不要です。お近くの会場に直接お越しください！

「議員と語ろう会」は、
市民の皆様と市議会議員が自由に
対話できる意見交換の場です。

12月定例会のお知らせ

会期 11月25日(火)～12月17日(水)

日	月	火	水	木	金	土
11/23	24	25	26	27	28	29
		本会議 予算決算 常任委員会				
30	12/1	2	3	4	5	6
				本会議(一般質問)		
7	8	9	10	11	12	13
		総務厚生 常任委員会	産業建設教育 常任委員会			
14	15	16	17	18	19	20
		予算決算 常任委員会	本会議 (採決等)			

※日程は都合により変更されることがあります
※傍聴をご希望の方は議会事務局までお問い合わせください